



検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記の項目につきまして、検査内容の変更及び検査の受託中止をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。
謹白



● 検査内容の変更 (P.2ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2020 掲載ページ
03572	クロナゼパム	31

変更日 2020年10月1日(木)ご依頼分より

● 報告表記の変更 (P.2ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2020 掲載ページ
01393	HLA-A,B(血清対応型タイピング)	67
01678	HLA-DR(血清対応型タイピング)	67
06614	HLA-A遺伝子型(HLA-A DNAタイピング)	67
06615	HLA-B遺伝子型(HLA-B DNAタイピング)	67
06616	HLA-C遺伝子型(HLA-C DNAタイピング)	67
03450	HLA-DRB1遺伝子型(DRB1 DNAタイピング)	67
03380	HLA-DPB1遺伝子型(DPB1 DNAタイピング)	67
03435	HLA-DQA1遺伝子型(DQA1 DNAタイピング)	67
03390	HLA-DQB1遺伝子型(DQB1 DNAタイピング)	67

変更日 2020年10月2日(金)報告分より

● 検査の受託中止 (P.3ページ)

依頼コードNo.	検査項目名	総合検査案内2020 掲載ページ
01107	マンデル酸(スチレンの代謝物として)	24
08680	抗酸菌種同定(18菌種)	150
04433	抗肝細胞膜抗体(LMAb)	232
04450	抗下垂体抗体-1(PAb-1)	232

最終受託日 2020年9月30日(水)ご依頼分まで

● 容器の変更 (P.4ページ)

容器記号	容器名称	総合検査案内2020 掲載ページ
B-16	PF-4, β -TG検査専用容器	249

変更日 2020年10月より順次変更



検査内容の変更

● クロナゼパム

治療有効濃度につきまして、一般社団法人 日本TDM学会の「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	03572	同左
検査項目名	クロナゼパム	同左
統一コード	3L125-0000-023-210	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3~4	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
基準値	治療有効濃度 20.0~70.0	治療有効濃度 10.0~70.0
単位	ng/mL	同左
報告範囲	2.0未満~最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料1)	同左

【参考文献】

一般社団法人 日本TDM学会: 抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018.(金原出版)

● HLA遺伝子型検査 報告表記変更

対立遺伝子(allele)の報告表記においては、日本遺伝学会、日本人類遺伝学会、日本学術会議の指針に従い、日本組織適合性学会が2017年にalleleの訳語を「アレル」に統一することを推奨し、現在では「アレル」表記が一般的であるため、弊社もこれに準じて報告表記を「アレル」に統一させていただきます。なお、この変更に伴う受託要領の変更はございません。

該当項目一覧

依頼コードNo.	検査項目名	変更内容	新	従来
01393	HLA-A,B(血清対応型タイピング)	報告表記	アレル	アリル
01678	HLA-DR(血清対応型タイピング)			
06614	HLA-A遺伝子型(HLA-A DNAタイピング)			
06615	HLA-B遺伝子型(HLA-B DNAタイピング)			
06616	HLA-C遺伝子型(HLA-C DNAタイピング)			
03450	HLA-DRB1遺伝子型(DRB1 DNAタイピング)			
03380	HLA-DPB1遺伝子型(DPB1 DNAタイピング)			
03435	HLA-DQA1遺伝子型(DQA1 DNAタイピング)			
03390	HLA-DQB1遺伝子型(DQB1 DNAタイピング)			

検査の受託中止

《最終受託日：2020年9月30日(水)ご依頼分まで》

下記項目につきまして新規項目への移行などにより検査受託を中止させていただきます。
ご愛用いただきました先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●代替項目あり

受託中止項目			代替項目	
依頼コードNo.	検査項目名	中止理由	依頼コードNo.	検査項目名
01107	マンデル酸(スチレンの代謝物として)	労働安全衛生規則等の一部改正に伴う、新規項目への移行のため	13442	スチレン代謝物 (弊社Information No.2020-27 をご参照ください)
08680	抗酸菌種同定(18菌種)	より高精度で多菌種を同定できる新規項目への移行のため	86175	抗酸菌同定(質量分析法) (弊社Information No.2020-22 をご参照ください)

●代替項目なし



受託中止項目			関連項目	
依頼コードNo.	検査項目名	中止理由	依頼コードNo.	検査項目名
04433	抗肝細胞膜抗体(LMAb)	現行試薬販売中止のため	—	なし
04450	抗下垂体抗体-1(PAb-1)		—	なし

容器の変更

《変更日：2020年10月より順次変更》

● PF-4, β -TG検査専用容器

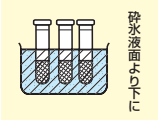
従来容器販売中止のため、同一成分であるCTAD溶剤を含む採取容器に変更させていただきます。
 なお、この変更により、容器に入れる血液量が(4.5mLから3.5mLに)変更になりますのでご注意ください。


	新	従来
容器記号	B-16	同左
採血量	3.5mL	4.5mL
製造会社	株式会社グライナー・ジャパン	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
容器画像		

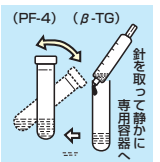
(No.00893) β -TG、(No.00894) PF-4 検体のご提出方法 (β -TG、PF-4 共通)

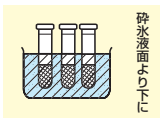
- 予め準備するもの
 1. 専用容器(B-16)：CTAD溶剤入り採取容器(1検体あたり1本使用します。)
 2. 氷水(氷と水を混合したものを用意します。)

● 採血の準備

- 

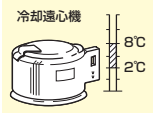
砕氷液面より下に
専用容器(B-16)の蓋を予め開け、氷水中に入れておきます。
- 

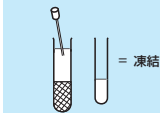
ポリエチレン注射器(19~23G)で3.5mLの血液を採取し、専用容器(B-16)に移してください。
採血の際は駆血帯を使用しないでください。
- 

(PF-4) (β -TG)
針を取って静かに専用容器へ
即座に専用容器(B-16)に蓋をして転倒混和します。
- 

砕氷液面より下に
専用容器(B-16)を氷水中に入れ、15分以上静置します。
(蓋は、開けたままでもよい。)

ここまではベッドサイドで行ってください。

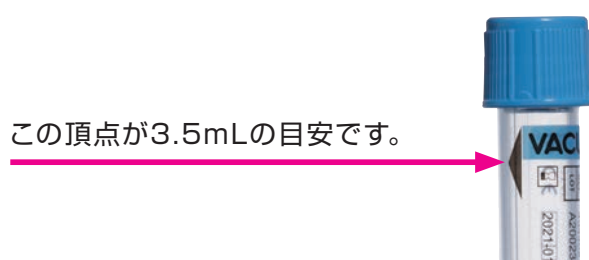
- 

冷却遠心機
1時間以内に冷却遠心機(2~8℃)で2500×g、20分間遠心します。
- 

遠心後、上清の中程から1/3の量をS-1に採取します。

検体は必ず凍結してください。

新容器 採血量の目安



新容器の拡大写真